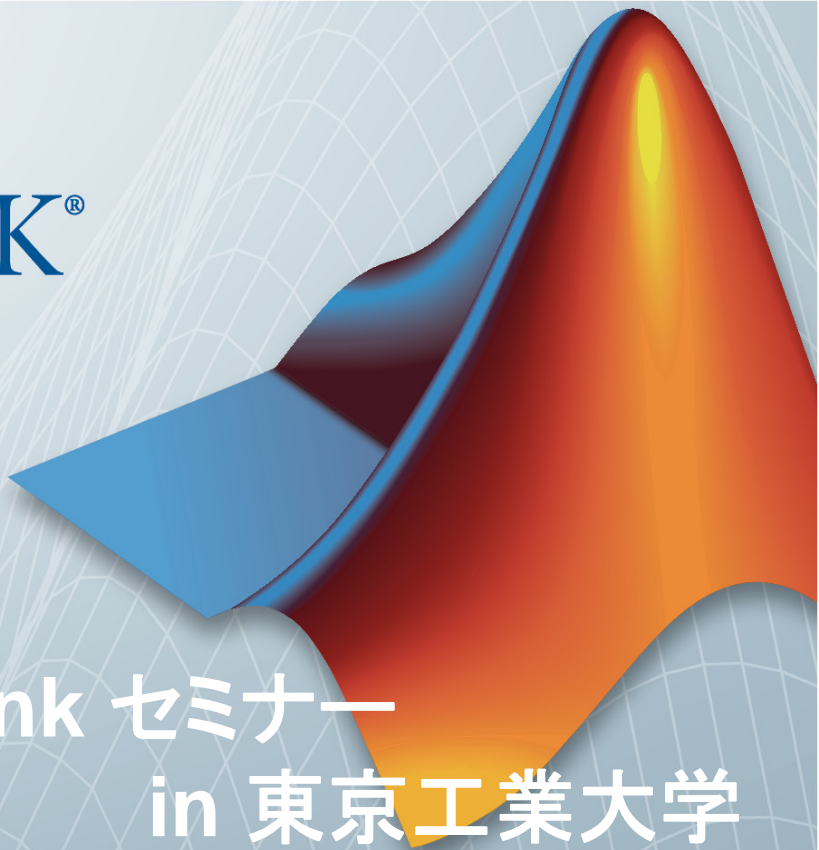


MATLAB® & SIMULINK®



MATLAB/Simulink セミナー in 東京工業大学

大岡山キャンパス 南4号館第1演習室
2016年8月3日(水) 13:30-16:45

MATLAB/Simulinkは全世界において、教育機関や企業、研究所などで100万人以上の方にご利用いただいております。貴校におきましては包括サイトライセンスをご導入いただいております。学内のPC、さらには教職員様の個人のPCでMATLAB/Simulink(その他48オプション)をご利用いただけます。本セミナーでは、MATLAB/Simulinkがいかに関研究や授業において活用いただけるかをご紹介します。このセミナーを通じて、MATLAB/Simulink をさらにご活用いただければ幸いです。

【アジェンダ】

時間	タイトル
13:30-15:00	MATLAB入門、MATLABによるデータ解析 MATLABはアルゴリズム開発、数値計算、信号や画像処理など多岐にわたる分野で用いられている科学技術計算のための計算環境です。このセッションでは、簡単な時系列データを解析するプログラムを作成することを目標に、MATLABでのデータの読み込みや可視化、回帰分析など、MATLABにおけるデータ解析の一連の流れをご覧頂きます。
15:15-16:45	Simulink入門、画像処理・コンピュータービジョン入門 Simulinkは教育・研究・産業界の場で幅広く活用されているブロック線図環境です。本セミナーでは、Simulinkについてご存知ない方、これからSimulinkを使ってみようとお考えの方を対象に、「どこで/なぜ/どのようにSimulinkが使われているのか?」の疑問にお答えすべく、「Simulinkのできること」の概要についてデモンストレーションを交えて紹介いたします。また、画像処理やコンピュータービジョンの技術は、近年、ロボット・自動車の事故防止・セキュリティ・医療等さまざまな分野で活発に研究開発が行われています。本セミナーでは、MATLABにおける画像取り扱いの基本から、物体の数・大きさなどの解析、機械学習を用いた人や物体の検出・認識、ステレオビジョン、3次元データへの再構築など様々な処理をMATLABを使用することで容易に実現できる様子を、デモを中心に多くのサンプルによりご紹介いたします。

本セミナーは事前登録制ではありませんので
直接会場までお越しくださいませ。